

東京都出産応援事業アンケートの集計結果について

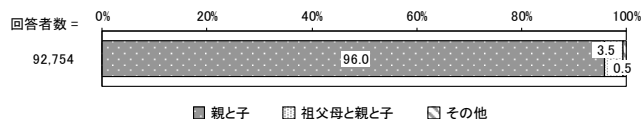
【実施概要】

- 対象者：東京都出産応援事業登録者のうち、令和3年4月から令和4年3月までのアンケート回答者
- 回答者数：30,991～92,754人（設問により異なります。回答率100%）
- 回答結果の表示方法：
回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。
また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

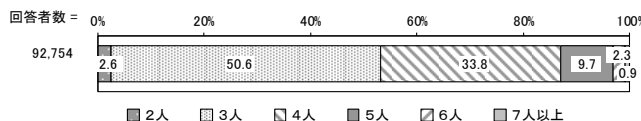
1 東京の0歳児がいる家庭像

- ・世帯の構成：親と子の世帯の割合が96.0%と最も高くなっています。
- ・世帯の人数：3人の割合が50.6%と最も高くなっています。
- ・子供の人数：1人の割合が53.6%と最も高くなっています。
- ・子供の希望数：2人の割合が55.2%と最も高くなっています。
- ・世帯の総収入：600～800万円未満の割合が21.2%で最も高くなっていますが、ばらつきがあります。
- ・養育者の年代：父親、母親ともに、30代が6割を超えています。

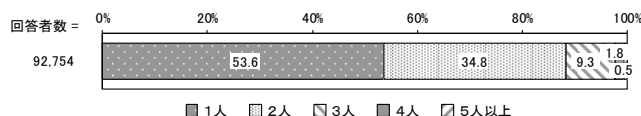
①世帯の構成



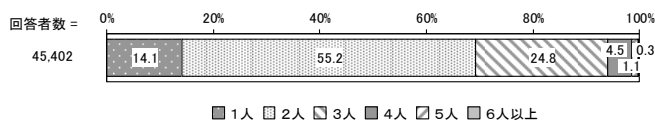
②世帯の人数



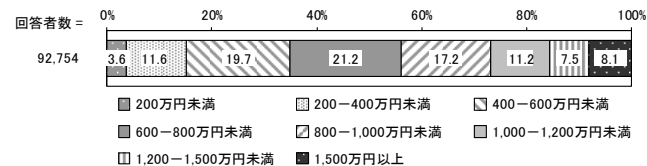
③子供の人数



④子供の人数と、今後希望する子供の人数の合計

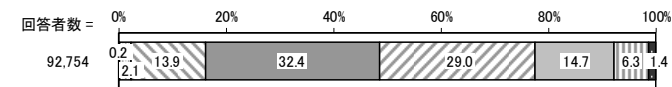


⑤世帯の総収入

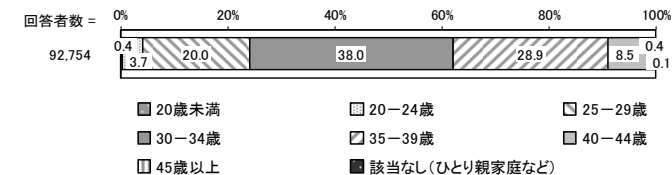


⑥養育者の年代

(父親)



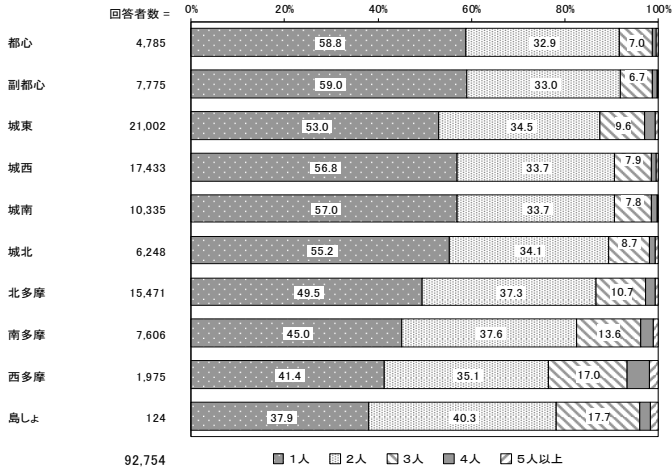
(母親)



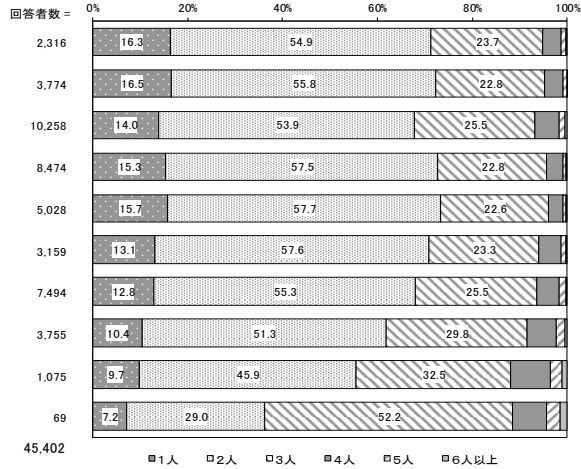
2 居住地域別の子供の人数等の状況

- ・ 子供希望数は、西多摩では「3人」が3割を超え、島しょで「3人」が半数を超えています。
- ・ その他の地域は、子供希望数2人が最多（5割）は変わりませんが、多摩地域は現に2人以上いる割合が5割を超えています。
- ・ 世帯収入別では、子供の人数に大きな差は見られません。
- ・ 母親の就労状況について、都心・副都心・城南でフルタイムが3割を超えています。また、西多摩・島しょでは「以前は働いていたが現在は働いていない」が最多となっています。

① 子供の人数

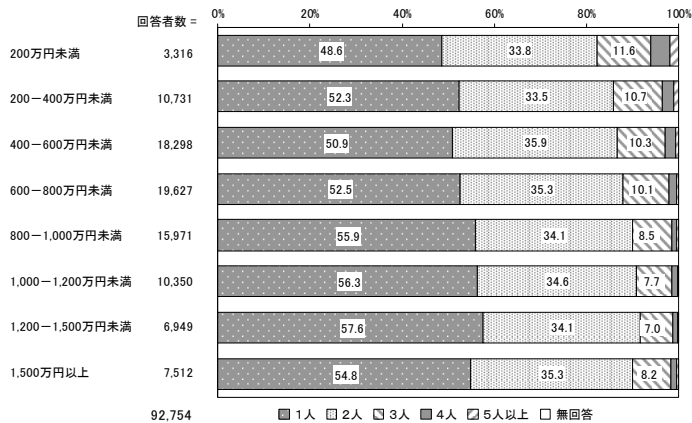


② 子供の人数と、今後希望する子供の人数の合計



※本集計における居住地域の分け方
 都心 : 千代田区、中央区、港区
 副都心 : 新宿区、文京区、渋谷区、豊島区
 城東 : 台東区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区
 城西 : 世田谷区、中野区、杉並区、練馬区
 城南 : 品川区、目黒区、大田区
 城北 : 北区、板橋区
 北多摩 : 立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、小金井市、小平市、東村山市、国分寺市、国立市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、西東京市
 南多摩 : 八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市
 西多摩 : 青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
 島しょ : 大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

③ 世帯収入別の子供の人数



④ 居住地域別の母親の就労状況

